

定期講演会 ～バイデン政権1年目の振り返りと政策動向～ (1ページ続き)

<通商政策>

・全般

一部同盟国向けに対し関税撤廃(鉄鋼・アルミ関税を関税割当制に切り替え)の動きもあるが、政権が変わっても管理貿易政策は変わっていない。なお、バイデン政権は従来の輸出市場拡大から輸出管理、サイバーセキュリティなどに通商政策の軸足をシフト。直近では安全保障の観点だけでなく、インフレ懸念からも、サプライチェーン障害にも政権は注目。

・米中関係

米国では政権だけでなく国民そして議会、産業界でも対中懸念が広がっている。ワシントンでは唯一、党派を超えて一致しているのが反中感情。トランプ前政権では米中デカップリングを全面的に推し進めたが、バイデン政権では安全保障に懸念があるハイテクなどに対象を絞り、デカップリングを継続。

・米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)

現在、バイデン政権はUSMCAでメキシコとカナダと様々な課題に直面。自動車の原産地規則の解釈を巡る対立、メキシコの労働問題、そして現在、米国議会で審議中の電気自動車(EV)向けの税額控除などは自動車業界をはじめ北米地域で活動される企業はサプライチェーンにも影響することからも、今後注目。

・米国のCPTPP加盟の可能性

バイデン政権は、CPTPP加盟については、やはりラストベルトの労働者を考慮する必要があり、簡単ではない状況。一方、成長するアジア太平洋地域で米国が関与しなければ、中国が影響力を拡大して、域内経済から米国は取り残されるリスクをワシントンの有識者、そして産業界などは懸念。妥協策であるバイデン政権のインド太平洋経済フレームワーク(IPEF)は議会承認不要の項目に限られ、FTAのような包括的な協定にはならない見通し。

中間選挙

<2022年中間選挙に向けた政策や政治見通し>

- ・大統領の率いる政党に対し中間選挙は厳しい。1期目の中間選挙は、通常、大統領の信任投票。過去を見るとFDRとブッシュ(息子)のみが、大統領就任1期目の中間選挙で下院の議席数を増やしている。いずれも大恐慌、そして9.11米国同時多発テロといった危機後の選挙。同様に有権者が今年11月の時点でバイデン大統領のコロナなどの危機対応を評価するかは不明。より可能性が高いのは今回も信任投票となり、民主党に厳しい戦いとなること。
- ・現状、下院はほぼ確実に民主党が多数派を失う見通し。また、上院は不透明であるものの、現在の大統領の支持率ではレッドウェーブ(共和党シンボルカラーの赤い波)が押し寄せることで、民主党が少数派に転落するリスクがある。

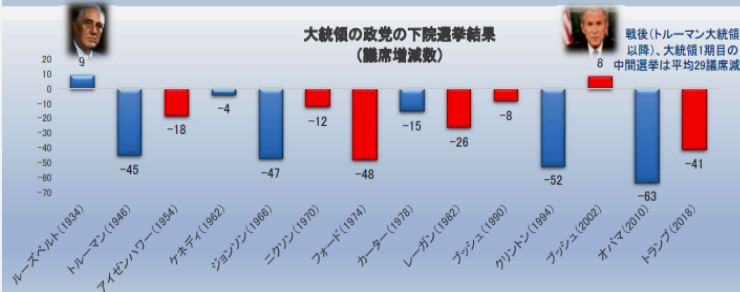
選挙までまだ10ヵ月残されているため、民主党は挽回できる可能性は僅かながらある。挽回のカギを握るのが(A) Abortion(人工妊娠中絶を巡る最高裁判決)、(B) Black Swan Event(戦争やテロ事件など予期せぬ出来事)、(C) Coronavirus(コロナの沈静化とそれに伴う経済正常化)、そして(D) Donald Trump(トランプ前大統領の影響拡大)などによって民主党支持者の投票率が上昇すること。

仮に中間選挙で民主党が下院、あるいは上下両院を失った場合、2023年以降、バイデン政権は新議会でほとんど法案を可決できず、政権運営は今以上に厳しさを増す。現在、バイデン政権が政策実行を急いでいる背景には、中間選挙で議会、特に下院での多数派を失うリスクが高いことがある。そもそも春以降、選挙サイクルが始まると法案可決は難しさを増す。

<大統領1期目の中間選挙(2022年11月)>

現職大統領の政党の下院勝利は厳しい歴史 VS.

国民が危機対応・経済V字回復評価?



Copyright reserved for Sumitomo Corporation of Americas. All Rights Reserved. 27

<講師略歴>

吉村亮太(よしむら・りょうた)

米州住友商事 ワシントン事務所長、住友商事 理事・米州総支配人補佐
東京大学教養学部教養学科卒。1987年に住友商事入社後、防衛ビジネスを20年間担当。2006年よりワシントン事務所長、2012年より東京本社にて調査・渉外・海外業務分野を担当ののち、2020年4月より現職。

渡辺亮司(わたなべ・りょうじ)

米州住友商事ワシントン事務所・調査部長
慶応義塾大学総合政策学部卒。ハーバード大学ケネディ行政大学院(行政学修士)修了。松下電器産業(現パナソニック)、日本貿易振興機構(JETRO)、政治リスク調査会社ユーラシア・グループを経て、2013年より米州住友商事会社。著書に『米国通商政策リスクと対米投資・貿易』(共著、文眞堂)。

3/9

コロナ禍で変化していく米国の労働環境 -人材採用・確保、リモートワークの課題・対策等- (主催: ヒューストン商工会)

日時: 2022年3月9日(水) 3:00 pm~4:00 pm (質疑応答を含む)
開催形式: Zoomによるウェビナー
対象: ヒューストン日本商工会会員をはじめ、どなたでも
定員: 100名
講師: 藤田満美子(ふじた・まみこ)
Senior Benefit Director / Baldwin Risk Partners (BRP)

神代孝通(こうじろ・たかみち)
Business Development Specialist / Executive Search Consultant /
Tabata Oxford Personnel LLC (TOP Group)

詳細・申し込み: [こちら](#)から(締め切り: 3月2日)

お問い合わせ先: 事務局 Email: sansuikai@jbahouston.org

4/17

ソフトボール大会のお知らせ



現在、2019年以降のソフトボール大会をCullen Park Softball Fieldにて開催することを予定しています。ただし、オミクロン影響などまだまだ予断を許さない状況ですので、下記の通り、開催日の1か月前の状況を鑑みたくうえで、最終の開催の判断をさせて頂く予定です。皆様の安全を第一に対応を考えて参ります。

開催月日: 2022年4月17日(日)

<3月中旬の状況を見て、最終開催可否判断の予定>

<雨天の場合: 5月中旬を予定、確定次第ご案内>

開催場所: Cullen Park Softball Field

(19008 Saums Rd, Houston, TX 77084)